



折高だより 令和6年度第5号

福岡県立折尾高等学校

令和6年7月19日
校長 浪崎 陽一

令和6年度1学期終業式式辞

～1学期を振り返って～

本日で1学期が終わります。ここで皆さんと一緒に少しこの1学期間を振り返ってみたいと思います。

4月には1年生が「おりこう3C Week」に大変積極的に取り組んでくれました。5月には体育大会が実施されました。今年の生徒会のスローガン「革命～歩みだす現在(いま)～」をテーマに学科や学年の枠を超え、折高生が一丸となって体育大会を成功させました。特に雨天のため内容を当日変更したにもかかわらず臨機応変な対応ができたことには折高生の能力の高さをあらためて実感したところです。

それから折尾高校にとって大変嬉しい知らせもありました。皆さんすでにご存じと思いますが、オリンピックのアーチェリー競技に本校卒業生の野田紗月さん、パラリンピックでもアーチェリー競技に重定知佳さんが出場します。卒業生が同時に2人もオリンピックとパラリンピックに出場するというのは快挙です。ぜひ皆で応援をしましょう。

さて、今日の本題に入りますが、最初に皆さんにひとつ質問をします。「成功の反対語は何だと思いませんか。」近くの人と少し意見交換をしてみてください。

様々な意見が出たと思いますが、正解はひとつではありません。ちなみに、かの発明家トーマス・エジソンは「成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないこと」と言っています。有名なことばですから聞いたことがある人も多いかと思います。バスケットボールの神様と呼ばれるマイケル・ジョーダン「失敗することには耐えられるが、挑戦しないていることには耐えられない」と語っています。

2年前アメリカで「後悔」に関する本がベストセラーになりました。昨年、日本でも『THE POWER OF REGRET 振り返るからこそ、前に進める』と題して出版されました。著者ダニエル・ピンク氏は世界中105カ国の1万6千人を超える膨大なデータを収集し、研究を重ねてこの本を書いたのですが、彼によると人は年を重ねるにつれ、行動したことによって失敗したという後悔よりも、「行動しなかった後悔」の気持ちが強くなるそうです。例えば、学校であまり勉強しなかったとか、人と喧嘩をして仲違いしたままお互いに謝罪もせず疎遠になってしまったとか、好きな人をデートに誘わなかったといったことです。好きな人がいるのに告白できていない人に「当たって砕けろ」と勧めているわけではありませんよ。

冗談はさておき、挑戦するチャンスがあったのに挑戦しなかったという後悔は年齢を重ねると強くなるということは間違いないようです。自分も皆さんに比べれば残された時間が少ないですから、後悔をしないように様々なことに挑戦していきたいと思っています。

皆さんには夏季休業中に、ぜひ何かひとつでもいいから失敗を恐れずにチャレンジして欲しい。何か自分のしてみたいことに取り組んで欲しいと願っています。これが私からの夏休みの宿題です。就職試験の対策に専念するのも良いですし、検定試験合格に向けて頑張るとするのも良いですし、新チームになった部活動でレギュラーを狙って練習に励むというのもあります。もうひとつ宿題を出しておきます。8月27日の始業式に全員が元気に参加すること。夏休み明けに、皆さんと会えることを楽しみにしています。

